

太田君へのパワハラ
デッチ上げの不当逮捕の謝罪を要求したら、

「今日は何の日か知っているか？

1989年6月4日（^{※1}天安門事件の日）」

「小銃で撃たれんかったただけでもマシ」

「戦車にひかれんかったただけでもマシ」

リスク担当の片岡職員の発言。言葉は音声データから忠実におこした。



教職員、教授、学生のみなさん！

こうした発言は本当に正常な大学の在り方なのか考えてほしい。

※1 天安門事件とは 1989年6月4日、中国において民主化を求め北京市・天安門に結集していた学生・労働者に対して、軍隊が小銃と戦車で鎮圧し、多数の死者を出した事件

広島生のみなさん！

上記の発言は、6月4日、学生自治会が学活Gによるでっち上げ逮捕事件（横コラム参照）の不当性を総合科学部前で訴え終わった時に、片岡職員（総務グループのリスク管理担当）がわざわざ目の前に来て発言した言葉です（全文は裏面）。この片岡職員は、学活Gの田中職員とともに太田君をパワハラしてきた中心的な職員です。

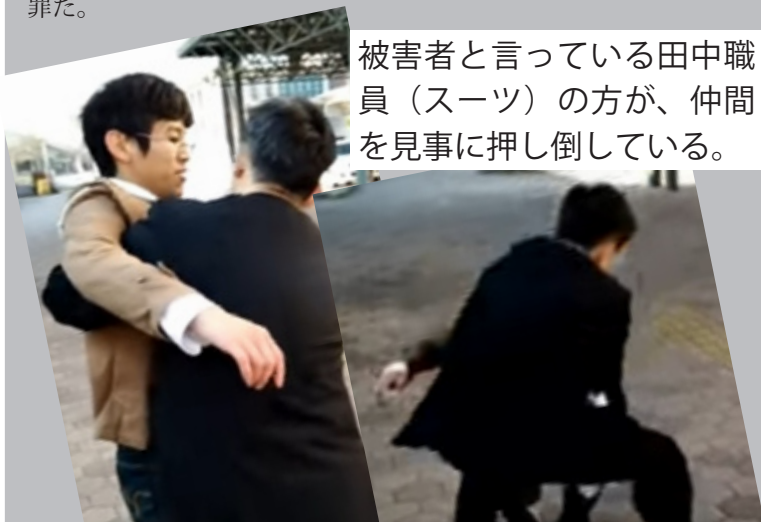
■職員の皆さん！ これが「仕事」なのか？

全ての広島大学のみなさん。特に、教職員の皆さん。この間の、学活Gによる太田君へのパワハラやでっち上げ逮捕、そしてこの片岡職員の発言は、絶対に許せるものではない。

私たちは、この広島大学で働く方の多くが良心的な教職員や労働者であることを知っています。大学

学活Gによるでっち上げ逮捕事件とは

4月4日、学活Gは仲井君と森田君が田中恵一、森川泰彦職員に「体当たり」「暴行」したとでっち上げて、5月22日、警察に逮捕させた。2人は5月31日。無実・不起訴で釈放された。これは大学による犯罪だ。



被害者と言っている田中職員（スーツ）の方が、仲間を見事に押し倒している。

事件とされている
4月4日の動画は
こちら⇒
(2:00あたりから)



※左派系 Youtuber「前進チャンネル」より

広島大学学生自治会

委員長 森田 寛隆
hiro dai86@yahoo.co.jp
<http://hiro dai86.blog.shinobi.jp/>



の様々な業務を担うだけでなく、多くの教授が、文系縮小の大学改革に反対の声を上げ、一部の理事会や企業から大学と教育を守ってきたことを知っています。

広大教職員組合は、非常勤講師の給与を半額まで減らす賃下げを団体交渉であきらめさせている。広大生協労働組合も低賃金や労働災害に対して声を上げています。大学という現場で、教育・大学の営利化、金儲け化を止めてきたのは、私たち学生や労働者の運動でした。

片岡職員とのやり取り全文

※片岡職員が近づいて来て発言。

片岡「1989年6月4日、何の日だ？」

学生「それを言わせて何をしたいの？」

片岡「他にやることあるじゃないか？」

学生「いや、意味が分からない。ぜひ回答を
よろしくお願いしますよ。パワハラ問題とか」

※片岡職員は沈黙。

学生「ちゃんとでっち上げ逮捕に対する回答
聞かせてください。」

学生「私に対するパワハラもな」

※片岡職員は回答せず、帰り際に捨て台詞。

片岡「小銃で撃たれんかったただけでもマシだろ。
戦車でひかれんかったただけでもマシだろ」

だからこそ、学活Gや片岡職員のような一部の職員によるパワハラ、でっち上げ逮捕が誇りある「大学業務」なのかを率直に考えてもらいたい。そして、謝罪を要求する学生に「小銃で撃たれんかったただけでもマシだろ。戦車でひかれんかったただけでもマシだろ」と言う事がどれだけ異常なのかを！

■仲間を守ることは、大学・教育を守り発展させることだ！

太田君へのパワハラ、そしてデッチあげ逮捕は、今の大学を象徴しています。18年を揺るがした日大問題や京大立て看板問題、そして東京医科大学の入試差別事件など、安倍政権の大学改革の中で、とことん教育・大学が金儲けの機関にされ、学生を単なる「商品」としておとしめられています。

太田君へのパワハラから連なる一連の問題は広大生全体の問題です。なにより、このような学生への理不尽な対応を許しては学生の権利など絶対にありません。

広島大学では「グローバル大学」や「グローバル人材」の名の下で企業の利潤や評価が優先される中、学生は全く顧みられていない。自分の仲間や友達を守ることが、学生のための大学を取り戻す決定的な契機だ。

広大生は、太田君へのパワハラ、2名のでっち上げ逮捕に対する謝罪を勝ち取ろう。大学改革に反対し、サークル・部活の規制強化を打ち破ろう。

6・9全国国鉄集会に1500人



6・9全国国鉄集会に1500人の闘う労働組合、学生が集まった。この集会は、1987年の国鉄分割民営化による1047名の解雇撤回を闘う集会だ。国鉄分割民営化は40万人を20万人に半減させ、労働運動活動家の解雇を狙った国家による不当労働行為だった。この闘いは、安倍政権による非正規、長時間労働・低賃金と闘う結集軸になり、全国で闘う労働運動の復権の軸になっている。